

氏名	竹之下 慎太郎
授与した学位	博士
専攻分野の名称	医学
学位授与番号	博 甲第 6328 号
学位授与の日付	2021年3月25日
学位授与の要件	医歯薬学総合研究科 生体制御科学専攻 (学位規則第4条第1項該当)
学位論文題目	Prevalence of dementia in people with intellectual disabilities: Cross-sectional study (知的障害者における認知症有病率：横断研究)
論文審査委員	教授 阿部康二 教授 光延文裕 准教授 久松隆史

学位論文内容の要旨

ダウン症において若年から認知症罹患率が高いことは良く知られているが、ダウン症以外の知的障害者における認知症については殆ど研究されていない。本研究は、ダウン症以外の知的障害者における認知症疾患の有病率を明らかにすることを目的として実施した。岡山県にある28の福祉施設で、493名の成人知的障害者を調査した。対象者の介護者が知的障害者用認知症判別尺度(DSQUID)を含む質問票に回答し、専門医が各介護者と面接した上で、認知症が疑われる対象者を直接診察した。診断基準は、ICD-10, DC-LD, DSM-5を用いた。ダウン症以外の知的障害者における認知症の有病率は45～54歳で0.8%、55～64歳で3.5%、65～74歳で13.9%だった。軽度認知障害の有病率は45～54歳で3.1%、55～64歳で3.5%、65～74歳で2.8%だった。各基準の中でDSM-5が、最も包括的に認知症と軽度認知障害を診断した。ダウン症以外の知的障害者は、一般集団よりも若い時期に高率に認知症を発症する可能性がある。

論文審査結果の要旨

ダウン症においては若年から認知症罹患率が高いことが知られているが、それ以外の知的障害者における認知症については殆ど研究されていない。そこで本研究は、ダウン症以外の知的障害者における認知症疾患の有病率を明らかにすることを目的として実施したものである。岡山県内28ヶ所の福祉施設で、合計493名の成人知的障害者を対象とし、その介護者が知的障害者用認知症判別尺度(DSQUID)を含む質問票に回答し、専門医が各介護者と面接した上で認知症が疑われる対象者を直接診察した。その結果、ダウン症以外の知的障害者における認知症の有病率は45～54歳で0.8%、55～64歳で3.5%、65～74歳で13.9%だった。また軽度認知障害の有病率は45～54歳で3.1%、55～64歳で3.5%、65～74歳で2.8%だった。本研究によりダウン症以外の知的障害者は、一般集団よりも若い時期から高率に認知症を発症する可能性があることが示され、また診断基準として用いたICD-10, DC-LD, DSM-5のうち、DSM-5が最も包括的に認知症と軽度認知障害を診断できることが明らかとなった。

よって、本研究者は博士(医学)の学位を得る資格があると認める。